

玉 垂



国選択の記録すべき無形民俗文化財・田遊び神事「歌おろし」(平成22年1月3日)

<http://www.okunijinja.or.jp>

春の慶び

平成二十二年は小雪模様から始まりました。降雨よりは良いのですが、ご参拝の皆様にとつては折角の初詣、好天であつてほしかったところですが、さすがにご年配の方々のお参りが少なく、若い方が多く見受けられました。二日以降は晴天が続く気温も上昇しましたので、大勢の参拝の方がお越しになられました。この間、当社では恒例の神事・祭事も順調に斎行したところでありました。このようなお正月の喧噪は二月の節分過ぎまで続き、紀元祭・祈年祭を無事斎行いたしました。そして一段落となりました。

そして弥生三月になりますと、四月の例祭に向けての諸準備が本格化いたします。例祭に奉奏奉仕されます国指定重要無形民俗文化財の「古式舞楽」では、三月下旬に舞人の小学生達八名全員が舞楽伝習所にお籠りいたします。中には今まで親御さんから離れて泊まった経験のない子供もいます。昼間は舞の稽古や神社境内での遊びなどが有るので仲間と一緒に過ごす時間が多く寂しさを感じませんが、夜になると心細くなるようです。指南役をはじめとする師匠達も一緒にお籠りして寝食を共にするわけですが、この期間中は親御さん同様に子供達の面倒を見て戴きます。このお籠りは四月の例祭前にも実施いたしますので、都合十日以上にも亘ります。伝習所に於いての稽古とお籠りを通じて、師匠と子供達の篤い信頼関係が築かれるのです。伝統ある舞楽の経験を通じて、様々な文化に目を向けて学んだり、地域の人々とのふれ合いを大切にしたい心やこまやかな感性を育んでもらいたいものです。ところで当社には子供達が主体の神事芸能がもう一つあります。神幸祭にて奉仕される町指定民俗文化財の「神楽舞」です。四月になりますと指南役のご自宅に舞人の少女四人が訪れて、稽古が行われます。奉仕者は「いちこ」と呼ばれ、天正十八年(一五九〇)の古記録でも「八乙女」と記載されている古い伝統神事です。舞楽のようにお籠りはしませんが、小学校を午前中で終え、稽古に通います。奉仕者の中には母子二代でご奉仕をされた方もあるとのこと。本年は十八日午後二時斎行の神幸祭でご覧になることができますので、是非ご参拝ください。地球温暖化等で日本の二十四節気は現実から少し離れているように感じるこの頃ではありますが、知らず知らずの内に確実に季節は巡ってきます。全国の神社では祭事での季節の花が供えられたり、諸道具として使われたりいたします。理由は定かではありませんが、当社でも舞楽行列で先頭を務める十万石役は桃の花の小枝を持ってご奉仕します。まさに神様と人とが一体となり春の慶びを感じる様子は、「神人和楽」の日本文化ではないでしょうか。氏子崇敬者の皆様方にはご壮健にて、日々お過ごしになりますようお祈りいたします。



小雪の元旦（1月1日）



「寅」歳（作・鈴木格子氏）



八王子社例祭の御弓神事（1月17日）



新しい宇治橋を渡る打田宮司以下参宮団の皆様（12月4日）



師走の大祓式（12月31日）



森町・中根省二氏ご奉納の「齋館玄関用衝立」



齋館建設業者ご奉納の「液晶テレビ」（研修室）

節分祭の齋行

二月三日（水）午後二時より節分祭を齋行いたしました。本年の特別奉仕者として、三島市出身で入間川部屋の磋牙司関、また北京オリンピック女子レスリング金メダリストの伊調馨選手をお招きし、年男女役としてご参加いただきました。

当日は天候にも恵まれ、大紋を身にまとわれたお二人は、殿内にて約一〇〇名の年役の方々と共に追儺神事や大声で笑い厄災を祓う福笑い神事等をご奉仕いただきました。

また神事後の豆撒きでは、お二人の姿を一目見ようと集まった大勢の参拝者からの声援に、笑顔で手を振っており、応えになっておられました。豆撒き終了後、磋牙司関は「地元の皆様にご感謝とご挨拶を取るように頑張りたい」とおっしゃっていました。



節分祭特別奉仕の磋牙司関（左）と伊調馨選手（右）



舞殿にての豆撒き神事（2月3日）

い」と、また伊調選手は「福笑いのように大笑い出来るような一年にしたい」と笑顔で話されておりました。今後、お二人の更なるご活躍に期待いたします。

「鳥居禮」展（後期）の開催

昨年、記念事業の竣功にあたり柿落としを兼ねて日本画家鳥居禮先生の個展を研修室におきまして開催いたしました。

また、新年を迎え後期といたしまして一月二日より十七日まで内容も新たに開催いたしました。初詣にお越しいただきました多くの参拝者の皆様にご覧いただき盛況のうちに終えることができました。終了後はこの個展のために描かれました舞楽絵「色香」をご奉納賜りました。



鳥居 禮展（後期）（1月10日）



奉納の「色香舞」

紀元祭の齋行

二月十一日は神武天皇が御即位され日本を治められたとともに、我が国が建国した「建国記念の日」にあたります。当社では、毎年奉祝行事を実施しておりますが本年は、生憎の雨天となり予定しておりました奉祝パレードや餅つき大会等は、中止とさせていただきます。

拝殿では午前十時三十分より紀元祭が齋行され、静岡県議会議員奥之山隆様始め、森町議会副議長鈴木晃様など大勢の皆様のご参列を賜り、無事滞りなく齋行いたしました。祭典後には当社大宝殿にて奉祝式典が行われ、ご来賓の皆様方よりご祝辞を賜りました。

生憎の天候ではありましたが、恵みの雨に感謝をしながら建国の日をお祝いたしました。



建国記念奉祝式典 - 「紀元節の歌」を合唱 -

特別寄稿

神道政治連盟推薦

参議院議員 比例代表(全国区) 山谷 えり子

「鎮守の森を守ること」

新年あけましておめでとうございませう。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。本年も山積する課題に全力で取り組み、でいく所存でございます。

昨年、私は参議院環境委員会の委員長に就任いたしました。

環境保護ということ、私が思い出すのは、明治末期から行われた神社合祀政策と、それに対する南方熊楠、柳田国男らの反対運動です。

明治末期、政府の神社合祀政策により、その頃全国約十九万社あった神社が、大正八年には



当社幹部との懇談会

約十一万六千社に減少しました。約八万もの神社が失われました。当時は国家神道の時代でしたので、中央集権化と国の財政支出を抑えることも目的の一つであったと言われていませう。

しかし、こうした神社合祀に対して、反対運動を展開したのが、博物学者、民俗学者の南方熊楠でした。当時官吏をしていた柳田国

男も南方に協力し、神社合祀中止の機運を盛り上げていきました。そして運動は実を結び、大正九年、貴族院が「神社合祀無益決議」を採択し、神社合祀政策は終息を迎えたのでした。

この神社合祀政策で、地域の生態系は破壊され、水害や風害が村々を襲ったと言われています。南方は、「神社合祀に関する意見」という文章の中で、環境保護の観点から、「千百年を経てようやく長ぜし神林巨樹は、一度伐らば億万金を費やすもたちまち再生せず」と訴えました。

しかし、南方の思想は、単なる生態的環境保護にとどまるものではありませんでした。神社を守ること、自然と共生することこそ、皇室崇敬の念を育み、よき国がらを守ることなのだと言主張したので

す。「漁夫より漁神を奪い、獵夫より山神を奪い、その祀を滅するは治道の要に合わず。いわんや、山神も海神もいずれもわが皇祖の御一族たるにおいてをや。神威を滅するは、取りも直さず、皇威に及ぼすところありと知るべし」

「わが国の神社、神林、池泉は、人民の心を清澄にし、国恩のありがたきと、日本人は終始日本人として楽しんで世界に立つべき由来あるを、いかなる無学無筆の輩にまでも円悟徹底せしむる結構至極の秘密儀軌たるにあらずや。」

神社を守ることは、心を清澄にし、円悟の生き方を叶えるといっているのです。環境保護が盛んに訴えられる社会となりましたが、真の環境保護とは、単に二酸化炭素を減らすことにとどまるものではなく、日本の国がらを守ることにつながるものです。このことを胸に、仕事に取り組んでまいりたいと思ひます。

祈年祭の齋行

二月十八日（木）午前十時より祈年祭が斎行されました。当日は早朝より生憎の天候に見舞われ心配をいたしました。が、少しずつ回復し祭典前には晴れわたり大祭にふさわしい好天となりました。

祭典には、静岡県議会議員の岩瀬護様を始め約七十名のご参列を賜り本年の五穀豊穡・国家の安泰を祈願いたしました。



祈年祭・宮司以下参進（2月18日）



小國神社の公式Webサイトがリニューアル



車のお祝い進入路が整備



梅の開花（平成22年2月1日）

二月上旬、当社門前では宮川沿いにある梅の花が咲き、見頃を迎えました。紅白色に咲く梅は、当社から東へ進んだ道沿いとその先にある宮ノ谷池付近の梅園でも楽しむことができ、その色彩と芳香は参拝者の方々に心地よい一時を与えてくれます。

梅の開花



「開運福だるま」の授与（1月1日）

昨年十二月七日、当社氏子青年会（角浩樹会長）では、お正月を迎えるにあたり、拝殿並びに神徳殿の注連縄を奉製し、二十七日に奉納いたしました。また、本年の年頭は例年になく寒さの厳しい中、元旦から十一日まで「開運福だるま」の授与をおこないました。十七日は恒例のどんど焼きにておはたき餅の授与を奉りました。当日は天候に恵まれ、多くの参拝者の方々に賑わい、お正月の伝統行事に親しんでいただきました。

氏子青年会の活動



御鎮座千四百五拾年記念事業

御奉賛者御芳名（十三）

（順不同）敬称略平成十七年一月一日〜平成二十二年十二月三十一日迄

※記載額は奉賛金の総額となります

〔諸団体及び崇敬者〕

参 萬 圓以上

壹 萬 圓以上

（株）稲垣金型製作所 ユーシン（株）



第7回優秀賞・杉本昌弘「深まる秋」

第八回「写真コンテストのご案内」



本年の写真コンテストは前回と同様にテーマを「境内に咲く草花・樹木などの自然写真及び祭事・催物」として実施いたします。

平成二十一年十一月より平成二十二年六月下旬までが撮影対象で、本年六月末日にて締切となります。皆様方の多くのご応募をお待ちしております。

尚、応募用紙は小國神社と写真材料商組合中遠支部加盟店にて配布しております。詳しくは小國神社写真コンテスト係までお問い合わせ下さい。

TEL 〇五三八（八九）七三〇二

「宮さくら祭」の開催

四月四日(日)午前十時より恒例の「一宮さくら祭」を開催いたします。メイン会場となる門前の特設ステージでは、バンド演奏やダンスなどの公演をお楽しみいただき、終演予定の午後三時二十分頃には投餅を実施します。境内では、拝殿前舞殿にて琴・尺八演奏、参拝者休憩所前の参道西側にて野点や甘酒がふるまわれます。

また、午後九時まで門前周辺をライブアップしておりますので、皆様お誘い合わせの上お出かけ下さい。



社務所前の枝垂れ桜（平成21年4月3日）

平成二十二年例祭

本年の例祭は、四月十七日・十八日の二日間に亘り斎行されます。最も神社に由緒ある日に行う大祭です。例祭（十八日）を始め十二段舞楽【国指定重要無形文化財】（十七・十八日）神幸祭・巫女舞【森町指定無形文化財】・稚児行列・勅使行列（十八日）などが行われます。二日目の舞楽終了後には、振興行事として福引き入りの餅まきが行われます。

また献茶祭・献詠祭・氏子入り奉告祭など例祭に伴う諸祭典が斎行されます。境内では、新茶の手揉み実演や露店の出店などで境内は賑わいます。



神幸祭にての「神楽舞」（平成21年4月19日）

古代の森シリーズ 28

神輿

神輿は祭典の中で、御神霊が御旅所と呼ばれる別の祭場まで移動する際に、一時的に鎮まられる「神様の乗り物」です。

当社の神輿は、明治二十二年に愛知県名古屋市玉屋町の音羽屋・青山儀兵衛のもとで奉製されました。磐田市の見付までは鉄道馬車で運ばれ、見付からは人の手によって担がれてきたものです。屋根の四方には金色の菊花紋、頂には鳳凰を飾り付けています。

常には宝蔵に保管されていますが、例祭での神幸祭にて使われます。



神幸祭の神輿（平成21年4月19日）

まつり歳時記

三月～六月

三月

弥生

- 一日 月次祭 (午前九時)
- 六日 本宮山月次祭 (午前十時)
- 十五日 初甲子祭 (午前九時)
- 十八日 月次祭 (午前九時)
- 十八日 真田城趾慰霊祭 (午前十時半)
- 十八日 鉾執社例祭 (午後一時半)
- 二十一日 春季皇霊祭遙拝式 (午前九時)

四月

卯月

- 一日 月次祭 (午前九時)
- 三日 神武天皇祭遙拝式 (午前九時)
- 三日 勸学祭 (午前十一時)
- 四日 一宮さくら祭 (午前十時)
- 六日 本宮山月次祭 (午前十時)
- 八日 杉 祭 (午前九時)
- 八日 全国一宮等合殿社例祭 (午前九時半)
- 十五日 垢籬祭 (午前十一時)
- 十五日 舞 揃 (午後二時)
- 十七日 献詠祭 (午前九時)
- 十七日 前日祭 (午前十一時)
- 十七日 氏子入り奉告祭 (午後二時)
- 十七日 十二段舞楽奉奏 (午後二時)
- 十八日 例 祭 (午前十時)
- 十八日 十二段舞楽奉奏 (午前十一時)
- 十八日 神幸祭 (午後二時)
- 十八日 献茶祭 手揉み保存会 (午後四時)
- 二十九日 昭和祭 (午前九時)

五月

皐月

- 一日 月次祭 (午前九時)
- 五日 こども祭 (午前十時)
- 六日 本宮山青葉祭 (午前十一時)
- 十四日 甲子祭 (午前九時)
- 十八日 月次祭 (午前九時)

六月

水無月

- 一日 月次祭 (午前九時)
- 一日 花菖蒲園開園奉告祭 (午前九時)
- 五日 花菖蒲観賞祭 (午前十時半)
- 六日 本宮山月次祭 (午前十時)
- 六日 花しょうぶまつり (午前十時半)
- 十八日 月次祭 (午前九時)
- 二十日 御田植祭 (午前九時)
- 三十日 夏越の大祓式 (午後三時)



初夏の花菖蒲園 (平成21年5月31日)

献詠祭の和歌募集

当社では、献詠祭で神前に奉納する和歌を募集しています。

左記の要項にて多数ご応募くださいますようお願い申し上げます。

- ◆兼題 「国」・「光」
- ◆用紙 短冊

(歌は楷書にてお書き下さい。裏面に住所・氏名を明記下さい。)

- ◆献詠費 無料
- ◆締切 四月十日(土)
- ◆宛 先 〒四三七一〇二二六 静岡県周智郡森町一宮三九五六一 小國神社社務所 祭儀課献詠係



夏越の大祓式「茅の輪神事」(6月30日)

稚児行列奉仕者の募集

四月十八日(日)午後二時より神幸祭(おわたり)を斎行し、稚児行列を執り行います。

つきましては、本年も行列に参加される稚児を募集しておりますので、ご希望の方は当社までご連絡ください。

電話 〇五三八一八九一七三〇二 振興会 稚児行列係

- 募集要項
- 一、対象者 小学校三年生位までの男女
- 一、参加費 五、〇〇〇円
- 一、募集人員 先着二十名
- 一、申込締切 四月三日(土)



稚児行列 (平成21年4月19日)

命名

- 松下 和也
- 大貫 結依菜
- 松下 絢愛
- 彦坂 瞭仁
- 後藤 悠太
- 深尾 悠太

- 磐田市
- 浜松市
- 袋井市
- 豊橋市
- 掛川市
- 掛川市

- 武藤 蒼
- 濱口 濱松市
- 永田 濱松市
- 足立 足立
- 高柳 高柳

- 湧大 濱松市
- 遥飛 掛川市
- 龍希 須藤 悠有 濱松市
- 健跳 野口 恵里瑳 名古屋
- 旭希 袋井市 菅沼 晃之輔 浜松市

平成二十一年十二月一日
～平成二十二年一月三十一日

○当社では、お子様の命名を申し受けております。



齋館屋上より御本殿を望む (11月4日)



「小國の杜・点描」

俳優・寛利夫氏の大ヒット祈願の儀・映画「交渉人 THE MOVIE」



本宮山例祭での焚き火 (1月6日)



NPO法人静岡犯罪被害者支援センターへ寄付 (12月14日)



宮代神饌田の抜穂祭 (10月1日)

平成二十二年三月十日
 「玉垂」(たまだれ) 第二十八号
 題字揮毫 神社本廳前総長 工藤 伊豆
 発行 小國神社社務所
 郵便番号 四三七〇二二六
 住所 静岡県周智郡森町一宮三九五六一
 電話番号 〇五三八(八九) 七三〇二
 FAX 〇五三八(八九) 七三五六七
 印刷 (有)デザインオフィス エム・エス・シー

表紙写真について

平成二十二年一月三日(日)午後三時に舞殿において奉納奉仕されております「田遊び神事」を撮影いたしました。寒風の中白丁のいでたちで、約二時間の演目奉仕後は新年から縁起の良い投げ餅が行われました。

○梅に続く河津桜も咲きました。そして次は染井吉野となります。やっと到来した春の季節です。そして境内が花に囲まれると例祭となります。ご関係の皆様方のご協力を例年の通りに宜しく願っています。

編集後記



宮奥の「しゃが」